

第 14 事業年度
事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://www.sakemasu.net//>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

令和8年度 基本方針-----	1
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業-----	2
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業-----	2
3. さけ・ます広域連携体制構築推進事業-----	2
4. さけ増殖資材緊急開発事業-----	3
5. さけ・ます等栽培対象資源対策事業-----	3
6. 北海道委託事業-----	3
(1) 秋サケ中後期群造成事業	
7. ふ化放流助成事業-----	3
8. さけます資源保護対策・研修活動事業-----	4
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密漁防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
9. 受入並びに負担事業-----	4
(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
収支予算書-----	5～8
令和8年度会費の額及び徴収方法-----	9
表－1 令和8年度サケ人工ふ化放流計画-----	10

令和8年度 基本方針

令和8年度の基本方針は、前年度の北海道における秋サケの漁獲量1万4千トンと前年対比で33%の極めて不漁な結果となり、漁獲金額においても不漁の影響で魚価も高騰しましたが、230億円台（税抜き）と昨年と比べて大きく下回る危機的な結果となりました。

当管内の漁獲量においても前年度をはるかに下回る低調な漁獲量で推移し、昨年の半分の1,039トンで漁を終えました。漁獲金額においても、不漁による魚価の高騰があったものの漁獲量の影響から13億2千万円余りと、事業計画の20億円を大きく下回る厳しい結果となりました。

この状況により、各地区組織の財務状況は一段と悪化しており、全道の水揚げ額が300億円を下回り、支援事業費が大幅に減額される異常事態となっております。本年より、第6期増殖体制検討協議会において、本格的に支援事業のあり方等について協議が進められます。当管内におきましても、協会運営のために緊張感を持ち、協議会に臨みたいと考えております。

次に収支計画においては、収入の主要な柱である会費収入について、定置漁業の会員会費において最低水準の水揚げを想定しています。ただし、毎年高騰する資材費などの影響を考慮し、前年度の資源水準を踏まえた上で、定置の水揚げ計画は昨年より2億円減の18億円に設定いたしました。これにより経費の圧縮を図り、効率的な事業推進に努めて参ります。

また、秋サケ定置漁業の漁獲高割負担金については、前年度と同様に特別負担金5%を含めた11.9%のご負担をお願い申し上げます。

全般的に、ふ化施設の老朽化が進行している状況です。これに対応し、経営体質の強化や余剰財源の確保が急務となっております。施設整備のための積立金については、例年通り1.5%のご負担をお願いし、緊急性の高い維持補修に限定して財源を管理しながら、効果的な施設整備に努めて参りたい。

皆様方の漁業経営は非常に厳しいものがあると重々承知しておりますが、是非とも御理解を賜りたいと思っております。これまで以上に経費削減を念頭において慎重な財務運営をして参る所存でございます。管内の定置漁業を巡っては難しい状況が続いておりますが、こうした現状をしっかりと認識し、最大限の努力をしていく所存でありますので、引き続き会員皆様の深いご理解、ご協力をお願い申し上げます。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

道が策定した令和8年度さけ・ます人工ふ化放流計画に基づき、捕獲採卵事業河川5河川と補完河川4河川において、期別の採卵計画に沿って良質卵の確保を目標に事業を実施して参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

事業河川である十勝川、釧路川、広尾川、楽古川、幌戸川の捕獲場において、東部地区60,700尾、西部地区111,530尾、合わせて172,230尾の親魚確保を目指します。補完河川・非捕獲河川については地元漁協と連携し、種卵不足時に対応できる体制を整えて参ります。余剰親魚等の売却につきましては、北海道との業務委託契約に基づき売却処理し、売却代は本会の運営財源とし適切に運用致します。

(2) ふ化放流事業

十勝釧路管内21カ所のふ化放流施設において、11名の技術職員により健苗育成と放流手法の改善を実施し、資源回復に向けた回帰率の向上のため、地場卵1億5,807万粒を確保し、東部地区4,931万尾、西部地区9,046万尾、全体で1億3,977万尾の放流を目指して参ります。この内、二次飼育、海中飼育については、各漁協及びさけ定置部会の協力のもと実施します。

[令和8年度 さけ捕獲採卵・ふ化放流計画概略]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)
エリモ以東	東部	前期	23,100	21,160	19,710	420
		中期	28,600	26,220	22,520	420
		後期	9,000	8,280	7,080	0
		計	60,700	55,660	49,310	840
	西部	前期	45,140	41,440	36,570	0
		中期	53,880	49,480	43,690	0
		後期	12,510	11,490	10,200	0
		計	111,530	102,410	90,460	0
	合計		172,230	158,070	139,770	840

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

本年度について施設整備は緊急を要する補修修繕のみ行っていきます。

3. さけ・ます広域連携体制構築推進事業

事業主体：(公社)北海道さけ・ます増殖事業協会
環境変化に対応した増殖手法の改良等の取組とともに、さけ・ますの地域全体の回帰率の向上を目指した広域連携体制を構築するための取組を近年の海洋環境の変化に耐えうる、より健苗な稚魚を放流し、稚魚の生残率を高めるため、種卵に耳石標識を施し、更別ふ化場で生産するさけ稚魚6,800千尾を大型化させ放流したのち、増殖・回帰効果を検証する事業を行っていきます。

4. さけ増殖資材緊急開発事業

事業主体：(公社) 北海道さけ・ます増殖事業協会

近年の飼料の原料となる魚粉等の高騰により飼料価格は上昇し、ふ化放流事業の継続が厳しい状況になっているため、放流適期までに稚魚の成長を補う飼料の開発により、効率的な種苗生産を行ないます。

5. さけ・ます等栽培対象資源対策事業 (内『さけ・ます不漁対策事業』)

事業主体：(国研) 水産研究・教育機構

放流後の河川や沿岸での減耗回避技術開発を図るため、釧路川、十勝川において種卵に耳石標識を施し、ふ化した稚魚の放流と追跡調査を各関係機関と連携し事業を実施します。

6. 秋サケ環境変動対策業務

事業主体：北海道

秋さけの採卵した前期群、中後期群の種卵に耳石標識を施し、ふ化した稚魚を放流し、4年後の回帰親魚捕獲を行い、群の効率調査を実施します。

7. ふ化放流助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して以下の通り助成を致します。

釧路地区

単位：千円

幌 戸	チョロベツ	庶 路	茶 路	音 別	釧路地区計
7,900	4,200	700	11,200	1,800	25,800

十勝地区

更 生	小紋別第1	小紋別第2	大 樹	-	十勝地区計	合計
6,800	1,100	1,500	200	-	9,600	35,400

8. さけ・ます資源保護対策・研修活動事業

(1) 試験調査事業

沿岸水温、プランクトン、潮流等の沿岸環境調査を実施して、タイミングを図りながら適期放流を行います。

(2) 教育研修事業

さけますセンター、内水試、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査及び汚濁防止のための監視活動及び、水質保全のための水質調査を実施します。水質事故があった場合には関係機関と連携し解決に向け迅速に対応します。その他、開発建設部並びに建設管理部が行う河川工事について、関係機関との協力体制のもと取り進めて参ります。

9. 受入並びに負担事業

(1) ふ化放流助成事業（支援事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業費体制に対して、漁獲高割負担金を応分額支出する一方で、ふ化放流事業に対して助成金を受け入れます。

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本会が実施する増殖施設整備事業にあてる目的のエリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの助成について、資金運用管理規程に基づき適正に管理して参ります。

収 支 予 算 書

(資金ベース)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	80	80	0	
特定資産利息収入	80	80	0	
②会費収入	248,600	275,400	△ 26,800	
会員会費収入	400	400	0	
漁獲高割会費収入(秋)	214,200	238,000	△ 23,800	水揚げ18億11.9%
漁獲高割会費収入(積)	27,000	30,000	△ 3,000	水揚げ18億1.5%
漁獲高割会費収入(春)	7,000	7,000	0	
漁獲高割会費収入(特)	0	0	0	
③事業収入	82,950	85,850	△ 2,900	
親魚捕獲採卵事業収入	30,000	30,000	0	
道増協事業稚魚売却収入	34,000	38,400	△ 4,400	
業務受託収入	18,950	17,450	1,500	
道増協業務受託収入	(500)	(500)	(0)	
北海道業務受託収入	(6,000)	(4,500)	(1,500)	
水産庁業務受託収入	(12,450)	(12,450)	(0)	
④補助金等収入	120,725	117,925	2,800	
地方公共団体補助金	3,000	3,000	0	
道増協助成金収入	117,725	114,925	2,800	
ふ化放流助成事業費	(102,425)	(102,425)	(0)	
助成金収入	(15,300)	(12,500)	(2,800)	
⑤受取負担金収入	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
⑥雑収入	180	190	△ 10	
受取利息収入	10	20	△ 10	
職員住宅料収入	120	120	0	
雑収入	50	50	0	
事業活動収入合計	452,535	479,445	△ 26,910	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
①事業費支出	360,000	384,750	△ 24,750	
職員給料手当支出	60,450	59,300	1,150	
臨時労務費支出	27,000	29,000	△ 2,000	
法定福利費支出	14,850	15,000	△ 150	
福利厚生費支出	2,000	2,100	△ 100	
会議費支出	50	100	△ 50	
旅費交通費支出	1,200	1,400	△ 200	
通信費支出	2,200	2,200	0	
備品費支出	500	500	0	
消耗品費支出	13,500	14,500	△ 1,000	
餌料費支出	30,000	40,000	△ 10,000	
施設費支出	0	0	0	
施設調査費支出	800	800	0	
補修費支出	12,000	12,000	0	
燃料費支出	12,000	12,000	0	
光熱水料費支出	4,600	4,600	0	
動力費支出	75,000	83,000	△ 8,000	
賃借料支出	16,000	18,000	△ 2,000	
車輛費支出	23,500	23,500	0	
親魚販売諸費用支出	500	500	0	
租税公課支出	5,500	5,500	0	
負担金支出	53,200	55,600	△ 2,400	
ふ化放流事業負担金支出	(35,400)	(35,400)	(0)	
捕獲事業負担金支出	(800)	(1,000)	(△200)	
道増協事業負担金支出	(17,000)	(19,200)	(△2,200)	道増協事業稚魚売却収入1/2
委託費支出	5,000	5,000	0	
雑費支出	150	150	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出	83,343	85,497	△ 2,154	
役員報酬支出	6,000	6,000	0	
給料手当支出	10,850	10,750	100	
法定福利費支出	2,860	2,840	20	
福利厚生費支出	800	800	0	
会議費支出	400	527	△ 127	
旅費交通費支出	3,300	3,300	0	
通信運搬費支出	700	700	0	
備品費支出	50	50	0	
消耗品支出	483	480	3	
図書購入支出	60	60	0	
修繕費支出	650	650	0	
印刷費支出	120	120	0	
燃料費支出	700	750	△ 50	
光熱水料費支出	600	600	0	
車輛費支出	850	850	0	
賃貸料支出	1,550	1,550	0	
広告宣伝費支出	60	60	0	
保険料支出	4,500	4,500	0	
租税公課支出	4,500	4,500	0	
負担金支出	43,110	45,110	△ 2,000	
道増協漁獲高割負担金支出	(43,000)	(45,000)	(△2,000)	
増殖施設有償貸付負担金支出	(100)	(100)	(0)	
支払い負担金支出	(10)	(10)	(0)	
支払利息支出	400	500	△ 100	
交際費支出	400	400	0	
雑支出	400	400	0	
事業活動支出計	443,343	470,247	△ 26,904	
事業活動収支差額	9,192	9,198	△ 6	

Ⅱ 投資活動収支の部	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入	0	0	0	
(自己積立口取崩収入)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費口取崩収入)	(0)	(0)	(0)	
役員退任慰労金引当資産取崩収入	0	0	0	
② 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	9,192	9,198	△ 6	
施設整備積立資産取得支出	0	0	0	
(自己積立口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
退職給付引当資産取得支出	8,442	8,448	△ 6	
役員退任慰労金引当資産取得支出	750	750	0	
② 固定資産取得支出	0	0	0	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設(購入・取壊)支出	0	0	0	
構築物建設支出	0	0	0	
建物附属設備建設支出	0	0	0	
車輛運搬具購入支出	0	0	0	
機械装置購入支出	0	0	0	
工具器具備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	9,192	9,198	△ 6	
投資活動収支差額	△ 9,192	△ 9,198	6	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	100,000	100,000	0	
短期借入金収入	100,000	100,000	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	100,000	100,000	0	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	100,000	100,000	0	
短期借入金返済支出	100,000	100,000	0	
長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	100,000	100,000	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備支出				
当期収支差額	0	0	0	

令和 8 年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10 漁業協同組合及び 10 市町村の会員に対して 2 万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の 2.0 %とする。

会費は 8 月 31 日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の 11.9 %とする。

※秋さけ定置漁獲高割会費 6.9 %＋特別会費 5.0 %

② 漁獲金額（消費税控除後）の 1.5 %を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採捕事業負担金（小定置）

① 漁獲金額（消費税控除後）の 5.0 %とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の 1.5 %を施設整備のための積立とする。

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは 2 万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月 10 日までに納入願います。

表－ 1

令和8年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	振興局	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚 魚 生産尾数 (千尾)	稚 魚 移 動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備 考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも以東	東部	根室					1,700					美留和	1,500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 500 500	
		釧路	幌戸	1,500	1,300			9,900	幌戸	1,300	1,170	オソツベツ	3,640	幌戸 ◎霧多布港湾沖 琵琶瀬 新川	2,890 840 680 400	
			(藻散布)									オソツベツ	2,630	藻散布 火散布	2,030 600	
			釧路	59,200	54,360						オソツベツ	2,380	チョロベツ	2,380		
			美留和 オソツベツ ※鶴居 芦別	10,980 17,930 9,900 9,890	9,290 15,170 9,100 8,360				釧路	31,770						
			茶路	7,360	6,220	茶路	3,170		庶路 茶路	3,170 3,050						
		地区計		60,700	55,660	0	1,700	9,900		57,360	49,310		13,320		49,310	
	西部	釧路	幕別 千代田 (歴舟) (小紋別) 楽古 広尾	87,220	80,090			17,000	音別	6,140	5,400			音別	5,400	
											幕別	2,550	厚内	2,550		
											札内	600	新川 モウド	300 300		
		更別第1 ※十勝 幕別 札内							9,360 17,000 20,410 21,020	8,240 15,300 17,960 18,500			十勝	50,630		
											更別第1	1,020	当縁	1,020		
		更生							4,480	3,940	札内 更別第1	1,440 1,100	歴舟	6,480		
		小紋別							1,680	1,480	幕別 更別第1	1,200 1,460	小紋別	4,140		
		広尾							22,320	19,640			豊似 楽古 広尾 音調津	1,800 2,720 13,920 1,200		
	地区計		111,530	102,410	0	0	17,000		102,410	90,460		9,370		90,460		
海区計			172,230	158,070	0	1,700	26,900		159,770	139,770		22,690		139,770		

※(国研)水産資源研究所 さけますセンター

稚魚生産率84%、 捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,300粒
係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

◎は海中飼育